



学校教育推進室だより

東大阪市教育委員会 学校教育推進室 令和7年10月2日

〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目1番1号 TEL06-4309-3268

近畿大学工学部体験学習

学校教育基本目標

すべての子どもに生きる喜びとあすをつくる力を

重点目標

総合的視点に立つ教育の推進

人権尊重に徹した教育の実践

「探究と対話」をもとに学び続ける教職員へ

信頼に応える学校づくり

学校園・家庭・地域の協働

近畿大学東大阪キャンパスにて、8月19日(火)、工学部体験学習を実施しました。当日は市立中学校から応募のあった生徒と保護者、38組が参加しました。

《目的》

工学に対する関心を高めるとともに、将来の工学部への進学及び自身のキャリアについて考える機会を設け、生徒の学習意欲の向上を図る。



【キャンパスツアー】

3グループに分かれ、近畿大学の学生の案内の下、アカデミックシアター（独創的な図書スペース、英語ニュースが流れるカフェ等）を見学しました。



〔体験学習〕

グループごとに2種類の実験学習を行いました。最新の設備や実験道具を使い、工学に関わる幅広い分野に関する最先端研究を体験しました。

～感想より～

- シリコンを使った実験、DNAのキーホルダー作りを体験することができて、知らなかったことを新しく知ることが出来ました。（生徒）
- 大学の分野の化学の実験など、好きな分野をたくさん勉強できて、とても楽しかったです。（生徒）
- 元素の周期表についてしっかり見たことがなかったのでもっと元素について調べたいです。（生徒）
- 説明だけでなく、目の前で見て実際に実験を通して学ぶことができ、親子ともに学びになりました。（保護者）

| グループ | 体験内容1 | 体験内容2 |
|-------------------|---------------|------------------------|
| A 「生命・化学分野」 | DNAを作ってみよう！ | シリコンすごい！ |
| B 「工学・技術分野」 | 機械でモノの動きを操ろう | ぶんぶんゴマを作って「光の三原色」を学ぼう！ |
| C 「環境・エネルギー分野」 | 土の不思議「液状化」って？ | 身体を動かす電気信号を測ろう！ |



〔企業講演〕

大塚化学、パナソニック、資生堂の企業よりご講演いただきました。自社の研究内容や開発した製品について、理系分野の魅力や進路について、実験や観察を交え、お話いただきました。



～感想より～

- 大学という場所で実験など体験的に学べ、講演ではやりたい仕事に就いている人の話が聞けて、自分の進路を考える参考になりました。（生徒）
- 自分が文系学部だったため、工学部について知ることが出来て、とても新鮮で面白かったです。企業講演も親子ともに楽しむことができました。子どもが今後の進路を考える上で、良い刺激になったと思います。（保護者）

産学連携 大阪大学医学部体験

「産学連携 大阪大学医学部体験」を令和7年8月23日(土)に実施し、市立中学校に在籍する中学3年生と保護者の17組が参加しました。
 本体験学習は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施が見送られてきましたが、今年度6年ぶりに開催することができました。

◀目的▶ 健康医療分野の産学連携による先進的な研究や医療機器に触れ、生命・医学に対する関心を高めるとともに、進路に対して展望を持ち、学習意欲の向上につなげる。



体験内容



大阪大学の紹介



顕微鏡体験(脳神経外科)



医学史料館見学



聴診等診察体験(循環器内科)



産学官連携について



正面玄関にて記念撮影



ドクターヘリ見学

感想

- ・医療についてずっと興味がありました。今回の体験で知ることができ面白かったです。さらに医療関係の道に進みたいと思うようになりました。
- ・今回の体験で私も沢山の人を助けることができる医者になるため進路についてしっかりと考えたいと思いました。

巡回相談・巡回指導を行っています

発達障害や肢体不自由等の園児児童生徒が円滑に学校園生活を過ごせるよう、『東大阪市立障害児者支援センター(レピラ)』と連携して実施する事業です。



| | 巡回相談 | 巡回指導 |
|-------|---|---|
| 事業の概要 | 東大阪市立障害児者支援センターの児童指導員が、園児児童生徒の学校園での様子(授業・保育等)を観察し、学校園における指導をはじめ、子どもの発達障害に係る特性をふまえた個別の支援内容や環境づくり等について学校園や保護者と共に考え、助言を行います。 また、学校園の支援体制の見直しや、学校園全体の支援の手立てを探るきっかけとするなど、「先生方への支援」も目的の一つとしています。 | 東大阪市立障害児者支援センターの理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)が、園児児童生徒の肢体の機能や言語面等の課題に応じた生活介助や支援方法、また機能訓練等について指導助言を行います。 この巡回指導は、就学前及び就学後の一貫した指導を行うため、定期的・継続的な制度として行っています。 |
| 対象 | 発達障害の診断を受けている園児児童生徒 | 主として肢体不自由のある園児児童生徒 |
| 回数 | 計3回(申し込み年度2回、次年度1回※) <small>※ 年長、小6、中3で申し込む場合、次年度の(3回めの)巡回は原則ありません。</small> | 年間1~2回 |
| 内容 | 【20分間の観察】 通常の学級、特別支援学級等、本人の課題がよりわかる場面で設定 【50分間の相談・指導助言】 個別の連絡票と参観の様子を基に具体的な支援についての助言 | 【45分間の協議・指導助言】 PT,OT,STが教職員、保護者などから相談を受け、身体の状態の確認等を通して訓練方法等について指導助言を行う。 【指導例】 ・姿勢保持のための体幹トレーニング方法 ・お箸をもてるようにするための手の機能訓練方法 ・絵カードを使用した言語訓練方法 |